

NGO福岡ネットワーク機関誌 国際協力ニュース August 2020 Vol.136

Contents

P 2-3 「コロナで変わるNGO環境 - オンラインツールの活用」 P 4-5 「FUNN加盟団体インタビュー」 P 6 「スタッフ紹介・活動レポート」 P 7 「イベント情報」



NPO法人 泉京・垂井と実施した国際協力のオンライン講座のようす

「コロナで変わるNGO環境 オンラインツールの活用

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大を受け、NGOの活動は大幅に制限されることとなりました。海外の現地事務所からの引き上げ、再開のめどが立たない活動。活動地からの帰国ができない状況……ネットワークとしてNGOの活動をサポートするFUNN事務局には関係団体のみなさんの困難な状況が日々伝えられています。ただそこでただ立ち止まるわけにもいきません。

FUNN事務局では遠隔地からでも海外との連絡が取れるオンライン会議ツールを使いこなすところから始め、現在はオンラインイベントを定期開催できるようになりました。これまでに定期開催していた「俱楽部FUNN」のオンラインバージョン、それに新企画である国際協力のオンライン講座をスタートしました。

これによりすべての活動が円滑になるわけではありませんが、オンラインツールの使用を検討中である、使ってみたいけどよくわからないといった団体のため、情報提供を行っています。

今回はこれまでの導入までの準備とその方法の一部をご紹介します。オンラインツールの活用を検討中の方はぜひご参考にされてください。

(P2~P3で特集)



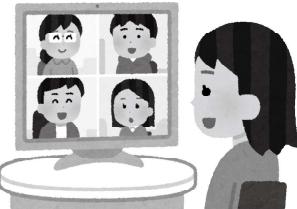
オンライン会議サービス 「Zoom」とは

海外の現場に行くことができない今だからこそ、「Zoom」を「ミーティングツールとして活用しましょう。みなさんほどんな方法で連絡をしていますか?メールや電話、Skype等のビデオ通話などが思い浮かばれるかと思いますが新型コロナウイルスの流行により一気に利用者が増えたのがオンライン会議サービス「Zoom」です。今回はその「Zoom」について簡単にご説明します。

打ち合わせに使える
通常事務所で行っている複数人での打ち合わせのように家からほぼ変わらない状況で会議ができます。また、パソコンに映っている画面を参加者のみなさんに見てもうつることができますので会議資料の共有にも便利です。

※2020年8月現在の情報です。サービス内容は変更になる可能性があります。

Zoomミーティング:
<https://zoom.us/>



オンライン会議のイメージ

幅広い活用方法

打ち合わせに利用するのはもちろん、工夫したいでいろいろなことに利用することができます。社内研修やオンラインセミナー、総会、会議それ必要に応じた使い方ができます。NGO・NPOの活動の活用方法により日本全国・海外とスムーズな支援活動に有効的な手段になると思いまます。

Zoomミーティングには標準装備してあるものが多く存在しますが、デスクトップPCなどには付属していないので新たに購入することが必要です。また、事務局スタッフの数名は事務所から参加するといった場合には1か所に複数のマイクが存在してしまっため、ハウリングを起こす可能性が高まります。その際にはウェブカメラを一台だけ起動させ、そのマイクをオン、そのほかのPCのマイクはオフにしておくことで、ハウリングの心配なく進めることができます。

③事前のリハーサルや使用マニュアルの配布

今回の総会で初めてZoomを使いつたが、どの参加者もいらっしゃいました。Zoom使用マニュアルを事前に届け理解してもらい、不安を解消するために総会当日前に練習をする時間となるようにしました。これにより参加者・事務局とも当日はスムーズに総会が開催されました。

④議決のためのアンケートの準備

通常の総会では挙手での表決を行いますが、どの議案に何票入ったか、それは議決権のある参加者かどうか、その記録は適切に管理されるか、といった具合に煩雑な作業が発生します。そこで今回はせっかくのオンライン総会なのでアンケート作成ツールであるGoogleフォームを利用してみました。フォームを使うことで簡単に表決の集計をすることができました。

5つある議案それぞれについて、

- 投票者名〇〇〇〇

- 賛成
- 反対

を入力できるアンケートフォームを作りました。

表決の際にそのアンケートに答えてもらい、全員の回答が終わつたところで集計を確認します。画面上にはすでに賛成/反対の数が円グラフで確認できるようになっていますので便利です。また、自動的に保存されますので記録をつける必要もありません。

ミーティングに参加するには、Zoomから発行されるURLを共有するだけです。URLを受け取った相手は画面の指示にしたがってクリックするだけで参加することができます。パソコンの他、スマートフォン・iPadからも利用することができます。

（約2000円/月。ZoomはTechSoup経由で申し込むことで割引を受けることができます）

オンライン総会に必要な準備

①Zoomの有料アカウントを取得

上記のZoomの説明にあるとおり、無料プランではZoomは40分までしかミーティングを開くことができません。総会はおおよそ2時間程度で実施しているので、スムーズに進めるため有料プランの契約をしました。

参加するのが簡単

ミーティングに参加するには、Zoomから発行されるURLを共有するだけです。URLを受け取った相手は画面の指示にしたがってクリックするだけで参加することができます。パソコンの他、スマートフォン・iPadからも利用することができます。

②Webカメラやイヤホン等機器の整理

(5) 定款の変更が必要

今後、「コロナウイルス感染症による対面での活動ができないことが続く可能性があること、また、他の新たな原因により1か所に集まつての総会開催ができない場合を考慮し、今回行った『オンライン総会』を今後も実施することができるよう、NPO法人は定款の変更の必要があります。

(主な変更点)

- A・書面と同様に電磁的方法・記録を認める
書面→書面又は電磁的方法記録

B・総会に出席できない場合の評決方法に追記
書面により表決→書面、電磁的方法又はビデオ通話、テレビ会議、ウェブ会議など即時的に双方向による意思確認が可能な方法により、表決する。

Aにより、郵送・FAXだけでなく、メールやアンケートフォームへの回答も公式なやりとりとすることができます。
Bにより、総会の開催をZoom上でできるようになります。



オンライン総会のようす

はじめに藤井副代表の挨拶を受け、議長に正加盟団体「アジア開発銀行 NGO福岡フォーラム」の楠原副代表が選出。書紀は事務局の住本と松崎の両名。議事録署名人には代表の二ノ坂、事務局長の原田が選出され議案が審議されました。議案は第一号議案から第5号議案まで2019年度の当法人活

2020年度FUNN総会開催の報告

この助成金は、九州に拠点を置き国際協力活動を行っているNGO団体に対し、事業や組織運営活動能力の向上を支援することを目的に、「(特活)NGO福岡ネットワーク」と宗教法人真如苑との協働事業として設立されたものです。

(特活)NGO福岡ネットワークと宗教法人真如苑との協働事業として、「九州地域NGO活動助成金」の募集がスタートしています。

2020年度九州地域NGO 活動助成金の募集の開始

以上、2020年度の総会が滞りなく終了し、オンライン上で加盟団体・会員同士の簡単な交流会が実施されすべて終りました。

動報告と収支決算、今年度の事業計画と予算案について報告・議決がされました。また、新型「コロナウイルス感染症の影響により、今までと同じ形式での総会・理事会開催が困難になつたため電磁的方法を取り入れました。WEBやオンライン上で開催が次年度も可能となるよう第五号議案の定款変更について審議・議決を行いました。

■応募受付期間:2020年7月18日(土)~9月28日(月)必着
■対象団体:九州地域で国際協力活動を行っている団体

詳しくはこちら
<https://ngofukuoka.net/2020josei/>

持続化給付金の申請はお済みですか？

感染症拡大による営業自粛等で影響を受けている、中堅・中小企業、小規模事業者、フリーランスを含む個人事業者に対して、事業の継続を支えるため事業全般に広く使える給付金である持続化給付金。この給付金は非営利法人も対象です。



持続化給付金ウェブサイト:<https://www.jizokuka-kyufu.jp/>

<要件(一部抜粋)>

2019年以前から事業により事業収入(売上)を得ており、今後も事業を継続する意思があること。

2020年1月以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により前年同月比で事業収入が50%以上減少した月があること。

<注意点>

任意団体は適用なし。宗教法人は適用なし。

それ以外の非営利法人は要件を満たせば、適用あり。

対価性のない会費や寄付金のみの場合は適用なし。

対象月は、2020年1月から申請する月の前月までの間で、前年同月比で事業収入が50%以上減少した月のうち、ひと月を任意で選択できる。

加盟団体インタビュー



10周年記念イベントのポストカードと会場の様子



ジユビリの活動は?

ヤンペーン活動を行ってきました。特に経済が様々な分野にもたらす影響について、市民の立場から考えるための場と情報を提供するために活動する国際協力NGOです。…とはいってもなかなか難しくどんどん団体が分からず……ということがジユビリの藤井さんに詳しくお話を聞きました。

債務と貧困を考えるジユビリ九州(以下、ジユビリ)は、途上国の債務(借金)の帳消しを求めることを中心として、南北問題や開発援助についての政策提言、市民への開発教育などのキャンペーン活動を行ってきました。

「ジユビリー2000」キャンペーン
途上国の債務帳消しを求めて1990年から世界的に広がった社会運動のキャンペーンで、最貧国が抱える返済不能な累積債務を2000年を機に帳消しすることを求めたもの。

債務を帳消しに?



書籍やブックレットを通じて調査・研究内容を積極的にアウトプットしてきた

「借金を帳消し」と「借りたものは返すべきでは?」と思われるかもしれません。しかし返済不可能な債務を生み出してしまったことは、貸し手側の責任もあるのです? という考え方もあります。

例えば、日本は田借款として利子付きで途上国にお金を貸します。当初は問題なく返済できる計画だつたとしても、プロジェクトの失敗などにより返済計画が破綻して借金額が膨れ上がり、その返済のためにその国が本来人々の生活の向上のために使うはずだった予算は債務返済に充てられ、貧しい人々の生活は悪化してしまって、この状況に陥つてしまつてはもう借金返済は不可能。借金を負わせていることが、その国の人々の命に関わることになつてしまつのです。

このキャンペーンにはロックバンドU2のボノ、モハメド・アリ、トム・ヨーク、坂本龍一といった著名人も賛同。福岡でもこのキャンペーンを推し進めるため「債務と貧困を考えるジユビリー九州」(当時は「ジユビリー2000福岡」)が立ち上がりました。ジユビリは2000年の九州・沖縄サミット並行して開催された国際会議に参加し、日本の立場を主張しました。その後、キャンペーンにより80年代までの債務は帳消しになつたものの、まだ関連した問題は続いているです。

藤井さんはどうしてこの活動を?

日本人である「私」としてできる国際協力があるのでないかと考えます。例えば

債務と貧困を考えるジユビリー九州

債務と貧困を考えるジユビリ
ー九州(以下、ジユビリ)は、途上国の債務(借金)の帳消しを求めるを中心として、南北問題や開発援助についての政策提言、市民への開発教育などのキャンペーン活動を行ってきました。

政策提言を行います。特に、国が行うODA(政府開発援助)が行われることで発生する途上国の現場で起きている問題について現地の声を日本政府に届ける、現地の声を踏まえた働きかけを行つてきました。発足当時は「ジユビリー2000」という世界的なキャンペーンに取り組んでいました。



クラブイベントで音楽を通じて考える場作りも、ロゴや専用動画手作りTシャツなどさまざまな入口を創ることを意識した(2008, 2009年)

福岡という地方で政策提言活動はどう取り組めばいい?

現在、福岡には国際協力における政策提言について知識があり考えることができる人たちはいるものの、実際に動きあらわす人が十分にいないことが問題かもしれません。活動現場を持っているNGO団体が政策提言も行うという形ができる国際協力として政策提言活動に多くの方に興味を持つて関わってほしいと思っています。

福岡という地方で政策提言活動はどう取り組めばいい?

福岡には国際協力における政策提言について知識があり考えることができるもの、実際に動きあらわす人が十分にいないことが問題かもしれません。活動現場を持っているNGO団体が政策提言も行うという形ができる国際協力として政策提言活動に多くの方に興味を持つて関わってほしいと思っています。

インタビューを終えて

今回のインタビューでお話を聞くまで、なかなか具体的なイメージが湧かなかつた債務を帳消しにということの必要性を理解することができました。そういえば、日本においても「徳政令」が出されたこともありますよね。この記事が読者のみなさんにとつて債務の問題について考えるきっかけになりましたら嬉しく思います。

債務と貧困を考える
ジユビリー九州

E-mail : jubilee.kyushu@gmail.com

学校を建てる、井戸を掘るといったことは「私」でなくてもできます。しかし、日本の援助が原因となって起つた問題は、日本人である「私」が責任を持って取り組まなければならぬこと考えます。それが日本の支援によって起つた「途上国の債務」だったのです。

公益財団法人福岡YMCA



留学生とサポートする日本人の交流

日本語を学びにくる留学生の支援や、子ども対象の夏・冬キャンプおよびサッカー、子どもから大人対象の英会話教室、を福岡地域に住むみなさんと一緒に行っています。

今回は福岡YMCアカデミー総主事で、福岡YMCアカデミーの校長でもある大塚永幸さんにお話をお聞きしました。

では設立から100年を越えて活動を行っています。

日本語学校の運営が活動を円滑に

また、福岡では日本語学校を2校運営しています。1つは進学を目指す学生向け、もうひとつは日本での就職を目指す方に向けたものです。学生は16か国から、約180人(2019年度)。福岡YMCAの活動には、この留学生も大きな関わりがあります。

英会話教室では、日本語のほかに英語でも学びたいと、留学生も参加することもあります。

会話を通して、留学生が母国語を教える側になることもあります。サッカー教室では地域の子どもたちと留学生が交流試合を行います。
もともと日本に住んでいたり、参加者に
おなじ文化背景を持つことはない外國出身の方と一緒に活動するため、いい刺激になることがあります。

YMCAsの活動の中では、例えば、日本人の大学生が留学生をサポートする「留学生が地域の子どもの面倒を見ながら一緒にサッカーをする」といった具合に、サポートされる側がサポートする側に回ることもあります。

YMCAのチャーチベースは「みつかる。つながる。よくなつていいく。」活動に参加する上で、まずは楽しい体験をしてほしいと思います。そして新しい自分・友達・活動のリーダー・ボランティアの仲間と出会い、成長していくほしいと考えます。

活動に参加された大学生のボランティアの方がいました。もともとはひつみじあんな性格だったんですねが、プログラムを通して参加者の子どもたちと一緒に過ごしていくうちに、だんだんリーダーシップを身に着けていき、最後にはその存在を頼もしく感じじるようになりました。

YMCAsのキャラッチャーフレーズである「みつかる。つながる。よくなっていく。」の象徴的に瞬間だったように思います。

「ロナで変わったことは

活動休止期間が長く続きました。日本語学校のほうでは、3月・4月は完全にお休み

留学生と子どもたちのサッカー交流

活動に参加するには

さじ。 サマー・プログラム 英会話講座などの情報をウェブサイトに掲載しています。また、留学生によるスピーチコンテストも予定していますので合わせてご覧ください。また、国際交流として会話のボランティアプログラムがありますので詳しくはお問い合わせください。

インタビューを終えて

留学生一地域住民がそれぞれに慣れ合ふ、「みつかる。つながる。よくなつていい。」といふ循環かうまくいつてしむことがとても魅力的に感じました。「日本に来た留学生が孤立してしまふ」という問題を最近よく耳にしますが、こういった取り組みがより広がることで、問題の解決につながるのではないかと考えます。この紙面を読んだアーナタから、ぜひお知り合いにお伝えいただけたらと思います。

公益財団法人
福岡YMCA

<http://www.fukuoka-ymca.or.jp/>
〒814-0133 福岡県福岡市城南区七隈1-1-10
TEL : 092-831-1771 / Mail : info@fukuokaymca.org



夏キャンプ(2019年)

FUNN事務局スタッフ紹介

新スタッフ松崎浩平からのメッセージ

皆さん、はじめまして！松崎浩平です。この度5月からFUNN事務局スタッフとなりました。長崎県出身でテレビよりもラジオが好きな年齢です。大学卒業後2年ほど一般企業で働いたのち、昨年から久留米市のみんくるという地域ボランティアや市民活動の中間支援をする施設のスタッフとしても働いています。大学に入学したての頃「大学生のときにしかできないことをやってみよう」となんとなくボランティアに参加しようと思つて入った国際ボランティアサークルがきっかけで気づけばそれ自体を仕事にするとは夢にも思つていませんでした(笑)海外に一度マレーシアに行つたことがあるぐらいで、現地にて何か支援をしたという経験もあるわけではありません。ですが、大学時代に活動していきた際に「海外に行かなくても身近にできる国際協力」があることを知り、また国際問題として取り上げられていることが自分たちの暮らしに直接関わることだと感じ、NPO／NGOに関わる仕事をしたいと思うようになりました。FUNNのことは大学卒業間際に受講した

NGOカレッジがきっかけで知りました。今回ご縁がありスタッフの一員となれたこととても嬉しく感じています。



まだまだ知識不足な部分もありますが、これまで携わってきた中間支援の経験を生かしつつ加盟団体の皆さんとの活動を広く知つてもうることで多くの方に「国際協力」をより身近なものとして感じてもらえるようにしていきます。よろしくお願いします！

皆さん、はじめまして！松崎浩平です。この度5月からFUNN事務局スタッフとなりました。長崎県出身でテレビよりもラジオが好きな年齢です。大学卒業後2年ほど一般企業で働いたのち、昨年から久留米市のみんくるという地域ボランティアや市民活動の中間支援をする施設のスタッフとしても働いています。大学に入学したての頃「大学生のときにしかできないことをやってみよう」となんとなくボランティアに参加しようと思つて入った国際ボランティアサークルがきっかけで気づけばそれ自体を仕事にするとは夢にも思つていませんでした(笑)海外に一度マレーシアに行つたことがあるぐらいで、現地にて何か支援をしたという経験もあるわけではありません。ですが、大学時代に活動していきた際に「海外に行かなくても身近にできる国際協力」があることを知り、また国際問題として取り上げられていることが自分たちの暮らしに直接関わることだと感じ、NPO／NGOに関わる仕事をしたいと思うようになりました。FUNNのことは大学卒業間際に受講した

オンライン講座は6月からスタート。「南北問題」「NPO／NGO」「グローバリズム」といったテーマで絶賛実施中です。はじめてのオンライン企画ということもあり、はじめは戸惑うこともあったのですが、受付方法や参加方法のご案内、当日の進行などはだんだんスムーズになつてきました。参加された方からは「なかなか聞く機会のない話で勉強になつた」「はじめて参加したけどより興味が湧いてきた」といったご感想をいただいております。

オンライン講座は6月からスタート。「南北問題」「NPO／NGO」「グローバリズム」といったテーマで絶賛実施中です。はじめてのオンライン企画ということもあり、はじめは戸惑うこともあったのですが、受付方法や参加方法のご案内、当日の進行などはだんだんスムーズになつてきました。参加された方からは「なかなか聞く機会のない話で勉強になつた」「はじめて参加したけどより興味が湧いてきた」といったご感想をいただいております。

【オンライン講座】 世界の今を知るために



参加されたみなさんとの集合写真

■今後のスケジュール

「グローバリズムをきちんと理解するために」

- | | |
|-------------------|---------------------|
| ①グローバリズムの萌芽 | 9月12日(土)15:30-17:00 |
| ②開発の時代・冷戦の時代 | 9月19日(土)15:30-17:00 |
| ③猛威を振るうグローバリズムと転機 | 9月26日(土)15:30-17:00 |

■受講料:1,000円(税込)

■参加方法:以下よりお申込みください

<https://sento-funn-online3.peatix.com/>

※オンラインミーティングツール「Zoom」を使用します。
(Zoomについての説明はP2をご参照ください。)

Event Information

FUNN周辺の"耳より"イベント情報

PP21ふくおか自由学校

2020連続企画「社会に希望の種をまく〜いのち危ういこのクニで」

☆Volume 1 「SNS時代にこそ輝く「手紙」の魅力
スナックちなつで語る社会へのラブレター」

コント形式で発表した、2017年の「お酒の社会学～呑むから見える国・文化・ヒト～」の第二弾！
今回のテーマは「手紙」。架空の酒場「スナックちなつ」にお客さんが集まって、学生時代にもらったラブレターの話や、郵便エピソード、手紙にまつわる文学作品や映画、切手コレクター、受刑者との文通運動、途上国支援里親制度での手紙などを通して、SNSやメールでも電話でもない「手紙」が持つ親密さを掘り下げます。

日時：8月29日（土）[開場13:30] 14:00～16:30
定員：30人
会場：早良市民センター視聴覚室（福岡市早良区百道2-2-1 地下鉄藤崎駅直結）
出演：加藤千夏（akarizm）さん
参加費：1,000円（学生半額）

☆Volume 2 「この国のかたち～原発事故からコロナまで～」

この国は世界に冠して国民の生命と財産を守らない国です。国連から人権に関する勧告が出されてしかるべき国なのです。世界は多国籍の巨大資本に支配され、各國政府はその傀儡としてマネー資本主義・グローバル経済主義を押し進めてきました。原発事故以降新型コロナウイルスによるパンデミックに至るまで、グローバル経済主義社会の構造とシステムの脆弱さ、そして人権を無きものにする産業主義・官僚主義社会構造の弊害について考えてみましょう。

日時：9月12日（土）[開場13:30] 14:00～16:30
定員：30人
会場：あいれふ視聴覚室（福岡市中央区舞鶴2-5-1あいれふ8F 地下鉄赤坂駅下車徒歩8分）
問題提起：内藤哲（ないとう・てつ）さん
参加費：1,000円（学生半額）

☆Volume 3 「外国人にケアされること、外国人をケアすること」

私たちは大人になると「自立」して生きることを求められますが、人生の最初と最後は必ず誰かのお世話になります。それは家族の場合もあれば、他人の場合もあるでしょう。現在、日本の介護現場はさまざまな外国人によって支えられています。グローバル化の最前線である介護現場とそこ

で働く外国人、そして私たちのケアの未来について考えてみませんか。

日時：9月26日（土）[開場13:30] 14:00～16:30
定員：38人

会場：中央市民センター視聴覚室（福岡市中央区赤坂2-5-8 地下鉄赤坂駅下車徒歩8分）

問題提起：小川玲子（おがわ・れいこ）さん

参加費：1,000円（学生半額）

問合・予約 ohyamayairochou@yahoo.co.jp
電話：090-4357-7596（藤岡）、080-6406-9251（大山）
<http://fukuokafreeschool.web.fc2.com/>

認定NPO法人 地球市民の会

NPO法人地球市民の会奨学金 さとおや 2020年度募集

子どもたちの夢と一緒に追いかけませんか？＊月1000円でできる国際協力＊

あなたの思いやりの心が1人の子どもの夢をかなえます。

■募集締切：2020年9月30日

■申し込み方法：電話・メール・HPにて申し込みいただけます。

■支援の詳細：

①ミャンマー タンボビジ奨学金
(月1,000円×3年間)

②ミャンマー シャン奨学金
(月2,000円×3年間)

③スリランカ シショダヤ奨学金
(月1,000円×4年間)

支援する里子と手紙での交流も可能です！

地球市民の会は 国税庁長官から「認定特定非営利活動法人（認定NPO法人）」と認定されました。

皆様方の寄付は税の優遇措置（寄付控除）の対象になり、税金が返ってきます。様々なケースがありますので近くの税務署か税理士にお尋ねください

■連絡先：認定NPO法人地球市民の会

TEL：0952-24-3334 / Mail：offce@terrapoople.or.jp / ウェブサイト：<http://terrapoople.or.jp>

NGO福岡ネットワーク

【オンライン講座】世界の今を知るために

グローバルなつながりを意識しながら、ローカルな営みを一つずつ積み上げていく思考と実践の方法を学びます。

＜こんな方にオススメ！＞

国際協力やNGOに関心のある社会人や学生 / 国際

協力に興味があるけど、何から始めたらいいかわからない人、仲間が欲しい人 / NGOの歴史や基礎を改めて学びたい人

＜この講座の特徴＞

・国際協力やNGO、SDGsなどを取り上げて1テーマ全3回の講座をシリーズで展開していきます。

・Zoomのチャット機能を使って参加者の疑問に答えるながら講義を進めます。

・ブレイクタイムにクイズに答えてもらったり、グループワークでディスカッションをしたり、フリートークの時間を設けたりするので、わかりやすく楽しく学べます。

「グローバリズムをきちんと理解するために」

①グローバリズムの萌芽

9月12日（土）15:30-17:00

②開発の時代・冷戦の時代

9月19日（土）15:30-17:00

③猛威を振るうグローバリズムと転機

9月26日（土）15:30-17:00

詳細・お申し込みはこちら

<https://sento-funn-online3.peatix.com/>

【FUNNのFacebook, twitterフォローのお願い】

FUNNの最新情報を随時更新中です、会員団体の皆様のフォローやFUNNの活動の情報拡散へのご協力をお願いいたします。

■Facebook：

<https://www.facebook.com/FUNN.fukuoka/>

■twitter：

https://twitter.com/FUNN_NGO

メールマガジン配信中

登録はコチラから



【2020年度FUNN会員募集】

FUNNでは活動を継続して支えてくださる会員を募集しています。会員種別の詳しい情報は次のページをご参照ください。

会員申し込みフォームを設置しました。こちらからもお申込みいただけます。

<https://forms.gle/VYnpzQmX9itgHAGC8>



正会員団体（25団体）

- *(特活)ISAPH
- *アジア開発銀行福岡NGOフォーラム
- *(特活)アジア女性センター
- *認定NPO法人ACE
- *(特活)エスペランサ
- *NGO Earth for Children
- *(特活)九州海外協力協会
- *債務と貧困を考えるジュビリー九州
- *佐賀NGOネットワーク
- *JVC九州ネットワーク
- *(特活)じゅつど
- *認定NPO法人ソルト・パヤタス
- *認定NPO法人地球市民の会
- *チベットを知る会
- *NPO法人トウマンハティふくおか
- *(特活)NICE
- *国際協力NGO NESTEP
- *ネパール歯科医療協力会(ADCN)
- *芭蕉纖維研究会
- *(特活)バングラデシュと手をつなぐ会
- *PP21ふくおか自由学校
- *福岡YMCA
- *フレンズ国際ワークキャンプ九州
- *（一社）ミドリゼーションプロジェクト
- *モザンビークのいのちをつなぐ会

※2020年7月30日現在

FUNN 応援寄付 募集中！

2020年に、NGO福岡ネットワーク(FUNN)は設立から27年を迎えます。27年前の福岡で、NGO活動に関わる人たちが横のつながりの重要性を感じてFUNNは設立されました。これまで多くの方々のご支援により、福岡や九州を中心としたNGO間や他セクターとのネットワークの構築、地域のNGOや国際協力活動の活性化、市民の国際協力への参加促進等の事業を行ってきました。ご支援いただいております皆さま、本当にありがとうございます。

これからもFUNNは、NGOへのサポートや多様なネットワーク構築等により、地球規模課題の解決を目指していきます。国際協力のこれからを考えること、市民の皆様や他セクターとNGOを繋げることに注力していきます。皆さまのご支援をどうぞよろしくお願ひいたします。

ご入会のお願い

NGO福岡ネットワークは、NGOとネットワークを作り、会員団体には組織基盤・活動実施能力向上のための研修・学習会、市民の方々にはNGO活動の内容をお知らせし、ともに考える各種活動を行っております。FUNNでは活動を継続して支えてくださる会員を募集しています。

◆正会員 団体	10,000円／1口: FUNNの目的に賛同して入会する団体
◆賛助会員 企業	30,000円／1口: FUNNの目的に賛同してそれを支援する企業
◆賛助会員 団体	10,000円／1口: FUNNの目的に賛同してそれを支援する団体
◆賛助会員 個人	6,000円／1口: FUNNの目的に賛同してそれを支援する個人
◆通信会員	3,000円／1口: 機関誌の定期購読のために入会した団体や個人

★会費・寄付の振込先

郵便振替口座名：NGO福岡ネットワーク 口座番号：01790-7-89478

※入会のお申込みは、下記連絡先までお問い合わせください。

TEL/FAX: 092-405-9870 Email: funn@ngofukuoka.net

【国際協力・NGOに関する相談はNGO相談員へ】

(特活)NGO福岡ネットワークは外務省より「令和2年度 NGO相談員」を受託しました。みなさまからの国際協力・NGOに関する質問にお答えしますのでお気軽にお問合せください。

オンライン相談もOK！

対面でなくオンラインでのご相談も可能です。ウェブサイトのお問い合わせフォームよりご連絡ください。



福岡で活動する国際協力NGOのネットワーク

NGO福岡ネットワーク
FUKUOKA NGO NETWORK (FUNN)

FUNN

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前3-6-1 小森ビル4A 福岡NPO共同事務所「びおとーぷ」内
TEL/FAX: 092-405-9870 Email: funn@ngofukuoka.net URL: <https://ngofukuoka.net/>

◆◇NGO相談を受け付けています（外務省委嘱）◆◇◆

*火～土 13:00～18:00 *日・月・祝…休み

*事務所を留守にすることがあるので、ご来所の際はお電話くださると助かります。
※専用駐車場がありませんので、自動車での来所は、ご遠慮ください。

